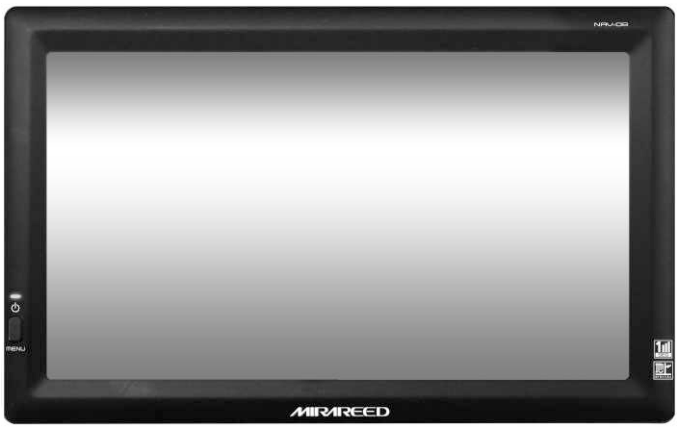
NAV-08（8インチフルセグ・ナビゲーション Y12）

取扱説明書

（本体の使い方）

保証書付



本機は日本国内でのみ使用するために設計されており、国外では使用することができません。

This unit is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other country.

MIRAREED

目次

■はじめに

商品構成一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
主な特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
各部の名称および機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
mini B-CASカードをセットする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
吸着式スタンドの取付け方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
吸着式スタンド用補助トレーの使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・17
ロッドアンテナの取付け方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
フィルムアンテナについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
フィルムアンテナの貼付け手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
電源のON／OFF ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

■主な機能

メインメニュー／クイック画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
ナビゲーション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
テレビ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
ビデオ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
オーディオ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
フォト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
リアカメラ（後方カメラ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

■必要な場合に

USBモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
故障かなと思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
品質保証 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
保証規約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

※本取扱説明書内で使用している画面などの写真やイラストは、プログラムの更新や変更により、製品と若干異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

商品構成一覧

本体（1個）	吸着式スタンド（1個）／ 吸着式スタンド用補助トレー（1枚）	ロッドアンテナ（2本）

フイルムアンテナ（2枚）	アンテナコード（2本）	リアカメラ接続ケーブル（1本）	AV入力 RCA変換ケーブル（1本）
	 コード長：約2.9m	 コード長：約2.0m	 コード長：約1.5m

DCカープラグ電源（1本）	アンテナコード 固定用クリップ（6個）	mini B-CASカード（1枚） スペーサー（1個）	ナビゲーション使用書（1部）／ 本体取扱説明書・保証書（1部）
 コード長：約1.8m		 	

脱落防止ストラップ（1式）

■本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

■本書内の製品写真・姿図・イラストは、実際と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

主な特長

■スマートなフルセグメモリーナビゲーション

・スリムでシンプル＆スマートなスタイリッシュデザインを実現しました。
・8インチワイド高解像度(800×480ドット)液晶画面採用。
地図が鮮明で、地図上の文字も綺麗で読みやすくなっています。
・ロッドアンテナとフィルムアンテナが付属しており、ユーザーが使用するアンテナを選択することが可能です。

■ナビゲーション機能

・タッチパネルで簡単に操作ができます。
・住所検索データ約3500万件とナビの基本機能を充実させました。
・3Dアイコン(※)により建物形状が確認しやすく、簡単に探し出せます。
・複数ルートの検索が可能で、推奨・高速道路優先・一般道路・距離優先ルートなどを案内します。
・駅名・周辺の建物からの検索、緯度・経度からの検索ができます。
・道路の種類別にルート色を区分し、クイックスタートおよび自宅までの道を案内します。

■ワンセグ／フルセグ機能（自動切替え機能付）

・ワンセグ／フルセグ放送がお楽しみいただけます。
・アンテナバー表示で受信状態がわかります。
・EPG(電子番組表)対応。画面内で番組確認ができます。

■マルチメディア機能

・Dual-Core CPU搭載。マルチメディア性能を強化しました。
・ナビゲーション案内と音楽再生が同時にお楽しみいただけます。
・動画(WMV)の再生ができます。
・音楽を聴きながらフォト(PHOTO)をご覧いただけます。
・SDカードスロット搭載で、SDカード内の写真・動画・音楽の再生が可能。
(SD/SDHC16GBまで対応)
・FMトランスミッター搭載で、ナビゲーションやワンセグ／フルセグの音声を車載のFMカーラジオから聴くことができます。

■PIP機能

・画面左側でナビゲーション、画面右側でテレビ・ビデオ・オーディオ画面と分割でき、便利に使用できます。

※3Dアイコンは、平面地図上に立体的な絵で有名な建物など約700件が登録されています。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、以下のように説明しています。
また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◆表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次のマーク表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	このマーク表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	このマーク表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◆お守りいただく内容の種類を、次のマーク表示で区分し、説明しています。

	このマーク表示は、してはいけない「禁止」内容のものです。
	このマーク表示は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。

⚠ 警告

配線・取付けに関する警告事項

運転者の視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取付けない

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への設置は、交通事故やけがの原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取付け・配線しない

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機器や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。自動車メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取付け・配線に保安部品は絶対に使用しない

保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。

シガーライターの電源から複数の電源をとらない

シガーライターの電源またはアクセサリー用電源ソケットに複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲込む恐れがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、直ぐに医師にご相談ください。

シガーアダプターのプラグは奥まで確実に差込む

差込みが不完全な場合、発熱し発火の原因となります。

DC12V/24Vのマイナスアース車で使用する

DC12V/24Vのマイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用できません。火災や故障の原因になります。

シガーライターソケットは定期的に点検・掃除する

シガーライターソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により、発熱し発火の原因となります。

コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルや足などに巻付かないように配線し、まとめてしっかりと固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因となります。

ご使用に関する警告事項

車両以外には使用しない

船舶・航空機・自転車・バイクなどに使用しないでください。
事故やけがの原因となります。

運転者は走行中に操作したり画面を注視しない

走行中の操作や画面を注視することは、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車させてからサイドブレーキを引いた状態で操作をしてください。

故障や異常のある状態では使用しない

万一故障（画像が出ない、音声が出ないなど）や異常（異物が入り込んだ、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店またはサポートセンターにご連絡ください。
そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因となります。

水のかかるところやほこりの多い場所では使用しない

本機器は防水・防塵仕様ではありません。
火災や発煙・発火、感電、故障の原因となります。

本機器を分解・修理および改造しない（廃棄時は除く）

分解・修理・改造や、コードの被覆を切って他の機器の電源をとったりすることは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因となります。
また、本機器はメモリーバックアップ用の充電式の電池が入っていますが、電池交換はできませんのでご了承ください。

本機器の内部に水や異物を入れない

内部に飲み物等がかからないようにご注意ください。
また、金属類や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良が発生し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。

シガーライタープラグに水などをかけない

プラグに水がかかるとショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。
また、飲み物などがかからないようにご注意ください。

SDメモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

大音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態での運転は交通事故の原因となります。

運転中はヘッドフォンを使用しない

交通事故の原因となります。

必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因となります。

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内中でも必ず、道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがの原因となります。

航空機内や病院など、高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは電源を切る

電子機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

・心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

・心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について、必ずご確認ください。

⚠ 注意

配線・取付けに関する注意事項

振動の多い場所や不安定な場所に取付けない

傾いた場所や強い曲面などに取付けると、走行中にはずれたり落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

水がかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取付けない

雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

高温になる場所などには取付けない

直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

コードを破損しない

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重い物を置く、熱器具へ近づける、高温なところに接触させるなどはしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

・車体やネジ・シートレールなどの可動部に挟まないように引回してください。
・ドライバーなどの先端で押込まないでください。

必ず付属品や指定部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

はずれたり落下しないように確実に取付ける

取付ける場所の汚れやワックスなどをきれいに拭取り、吸着式スタンドで確実に固定してください。
吸着式スタンドを確実に密着させて固定しなければ吸着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因となります。
特に高温になった時に、吸着式スタンドと吸着面の間の空気が膨張して吸着が弱くなることがありますので、定期的に吸着状態の確認をしてください。

ご使用に関する注意事項

雷が鳴り始めたらアンテナやプラグに触らない

落雷による感電のおそれがあります。

強い衝撃を与えない

落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

テレビ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない

アンテナの先に接触し、事故やけがの原因となります。

使用後は、直射日光の当たらない場所に保管する

直射日光が当たるなど、高温になる場所に放置すると本製品の故障や変形の原因となります。

ナビゲーション本体とスタンドの温度を確認してから脱着する

高温の場所に放置（直射日光などに長時間さらされた場合）したり、長時間続けて使用した場合などは、スタンドなどが高温になり、やけどをする可能性があります。

SDカードに関する注意事項

別売の SDカードに音楽や動画、フォトファイルを入れて楽しめます。充分にお楽しみいただくため、下記の事項に注意してください。

- SDカード・ SDHCカードの class2/class4/class6 タイプのみ使用ができます。
- 容量は16GBまで認識できます。
- 一部の SDカード・SDHCカードは認識されないことがあるので注意してください。
- SDカードを無理な力で挿入しないでください。
- SDカードを取り出すとき、飛び出すことがあるので注意してください。
- 磁石に近づけないでください。データが破損したり、カードを認識できなくなることがあります。
- フォーマット方式は FATあるいは FAT32でフォーマットしたものを使用してください。（2GB以下：FAT、2GB以上：FAT32）
- カードを分解したり、変形させたり、端子を汚したりショートさせるなどしないでください。
- Music/Video/Photo の動作中は SDカードを絶対に取り出さないでください。(誤作動が発生したり、SDカードや本機器を損傷する場合があります。)

USBご使用に関する注意事項

本製品はUSBケーブルを使った、SDカードへのファイル転送ができます。
下記の事項に注意してください。

- 一部のPCでは認識されないことがあるので注意してください。
- PCのOSはWindows XP/2000/7のみの対応です。
- SDカードが挿入されていない状態ではリムーバブルディスクとして認識されません。
- 必ずSDカードを先に入れてからUSBケーブルをつないでください。
- 本体と PCと接続したままケーブルを抜いた場合、自動的に電源が切れます。

◆GPSを利用した機器の同時使用について

同じ車両に本機を含め複数のGPSカーナビゲーションやGPSレーダー探知機などを設置しないでください。本機および他のGPSを利用した機器の誤動作の原因になります。

ⓘ	定められた温度範囲外では使用しない 本製品は0℃～45℃の温度範囲内で正常動作するように設計されていますので、必ず正常動作温度範囲内で使用してください。

ⓘ	温度変化に注意する 寒い場所に長時間置いた後、暖かい場所に移動すると結露することがあるため、使用する環境で1時間ほど経過してから使用してください。また、寒い場所で動作させるとディスプレイが見えにくいことがあるので、本体に電源を入れた状態で本体温度が上がってからご使用ください。

タッチパネル液晶ディスプレイに関する注意事項

本製品はタッチパネル液晶ディスプレイです。ご使用の際には下記の事項に注意してください。

- 液晶パネルは視聴できる範囲(視野角)があるので、設置する角度に注意してください。
- 傷がつきやすいので、先端の硬いものや鋭利なものおよびざらつきのあるもので操作しないでください。
- 市販の液晶パネル保護フィルムを使用した場合、正常に動作しない場合があります。
- 液晶ディスプレイを保護するため、本機を使用しないときは直射日光があたらないようにしてください。
- 直射日光が照りつける場所では視認性が低下することがあるので注意してください。
- 低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりするなどの現象が生じることがあります。また、映像の動きに違和感があったり、画質が劣化するなどの現象が生じることがあります。定められた温度で使用してください(0℃~45℃)。
- タッチパネルに過度の圧力をかけないでください。
- タッチパネルは感圧式となっており、適度な力が加えられないと認識されないことがあるので注意してください。
- タッチ位置がずれる場合はタッチパネル調整を行ってください。(P39参照)

各部の名称および機能

1. 電源／メニューボタン
   このボタンを 長く押すと電源がオン/オフになります
   動作中、このボタンを短く押すとメインメニューに戻ることができます。

2. 電源ランプ
   電源を入れるとランプが点灯します。

3. 液晶ディスプレイ
   タッチパネル液晶ディスプレイで、必要なときは直接画面に触れることで簡単に操作できます。

4. SDカードスロット
   別売の SDカードを挿入するためのスロットで、SDカードに音楽や動画や写真などを保存してご利用いただけます。

5. mini B-CASカードスロット
   付属のmini B-CASカードを挿入するためのスロットです。

6. AV IN（外部入力）端子
   DVDプレイヤー等を接続することにより、外部モニタとしても使用できます。
   ※付属のRCA変換ケーブルを使用します。

7. REAR CAM（リアカメラ）端子
この端子にリアカメラを接続すれば車の後方を画面で見ることができます。
※付属のリアカメラ接続ケーブルを使用します。
※リアカメラは付属しません。

8. AUDIO OUT端子
イヤホンやAUX接続を使用する際に接続する端子です。

9. USB端子
USBケーブルを接続する端子です。(USB Mini-B端子対応)

10. 外部電源端子
シガーアダプターから電源を供給する端子です。

11. 外付けGPSアンテナ端子
外付け GPSアンテナを接続する端子です。
※外付けGPSアンテナは別売りです。

12. TV ANT 1／TV ANT 2 端子
付属のロッドアンテナまたはアンテナケーブル (フィルムアンテナを接続した場合) を接続する端子です。

※接続するアンテナにつきましては、ご使用される環境等に応じて任意で選択してください。

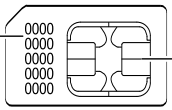
13. スピーカー
スピーカーが 内蔵されています。

miniB-CASカードをセットする

miniB-CASカードについて

mini B-CAS カード番号

※mini B-CASカード番号はmini B-CASカードを管理するための番号です。
お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモしてください。



⚠ 必ずお読みください。

- ●mini B-CASカード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ、挿入してください。
- ●使用許諾契約約款をよくお読みください。mini B-CASカードのパッケージを開封すると、使用許諾契約約款に同意したものとみなされます。
- ●mini B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。

■mini B-CAS カード取扱上の注意点

- ●折り曲げたり、変形させたり、傷つけたりしないでください。
- ●重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- ●水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
- ●ICチップ部には手を触れないでください。
- ●分解・加工は行わないでください。
- ●本製品に付属のmini B-CASカードは地上デジタル放送専用です。
- ●BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用出来ません。

※mini B-CASカードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL:0570-000-250（詳しくはmini B-CASカード台紙を参照ください）

■mini B-CAS カードの入れ方

❶mini B-CAS カードを台紙から取外します。
mini B-CAS カードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

❷本体側面のmini B-CASカードスロットにmini B-CASカードを差込みます。
「mini B-CAS」と記載された面を上にし、切欠きのある方向から「カチッ」と音がするまで奥に差込んでください。

⚠ 必ずお読みください。

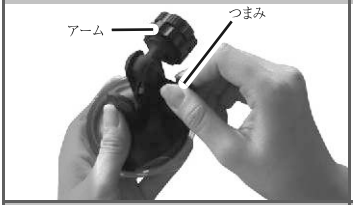
- ●mini B-CASカードを抜き差しする際は必ず電源を切った状態で行ってください。故障の原因となります。

吸着式スタンドの取付け方法

1. スタンドを取り付ける位置を中性洗剤できれいにし、よく乾かしてください。

注意！
付着面にホコリや水気があるまま取り付けた場合、スタンドがダッシュボードからはずれ落ちる恐れがあります。

2. 吸着式スタンドのアームを正面に来るように曲げ、つまみを軽く締めます。



3. スタンドの吸着面の保護シートを剥がし、設置場所へ吸着面を押し付け吸着させます。さらにレバーを下げしっかり固定します。

4. 本体背面にスタンドのアーム部先端を取付け、アーム部のダイヤルを回して本体をしっかり固定します。

5. 本体をダッシュボードに付くくらい低い位置で取付けたい場合は本体下にスペーサーを貼付けてください。

6. 本体を見やすい角度に調整したら、スタンドのつまみをしっかり締めて固定してください。

吸着式スタンド用補助トレーの使い方

一部の材質・形状のダッシュボードでは十分な保持力が得られないため、吸着式スタンド用補助トレー（以下、補助トレーという。）を付属しております。

補助トレー

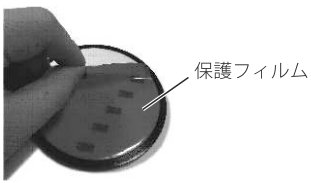
安定した吸着が確保できない場合は、この補助トレーをダッシュボードに貼付け、その上に吸着式スタンドを取付けてください。

・取付け前に必ず取扱説明書をお読みください。
・一度剥がすと粘着力が低下するため、貼直しはできません。
・取付け及び取外しの際、ダッシュボードに傷がつかないようご注意ください。

下記手順に従って取付けを行ってください。

取付け手順

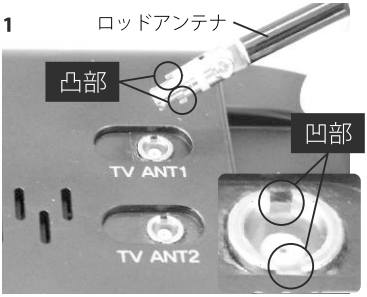
1. 取付ける位置を中性洗剤できれいにし、よく乾かしてください。
2. 補助トレーの保護フィルムを剥がし、本体をセットする位置に取付けます。



3. 補助トレーの上に吸着式スタンドを取付けます。

ロッドアンテナの取付け方法

1



本体裏側のTVアンテナ端子に付属のロッドアンテナを接続してください。（2箇所）

※ロッドアンテナの凸部とアンテナ端子の凹部をしっかり噛み合わせて固定してください。

2

2箇所目も同様にして、TVアンテナ端子に付属のロッドアンテナを接続してください。

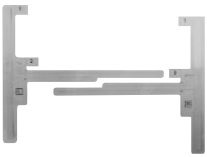
3

しっかり固定されていることを確認し、任意の角度へ調整を行ってください。

フィルムアンテナについて

構成部品

構成部品一式

フィルムアンテナ	アンテナコード	アンテナコード固定用 コードクリップ
		
2枚	2本	6個

貼付ける前に

■必ずウインドウの指定の位置・寸法内に貼付けてください。

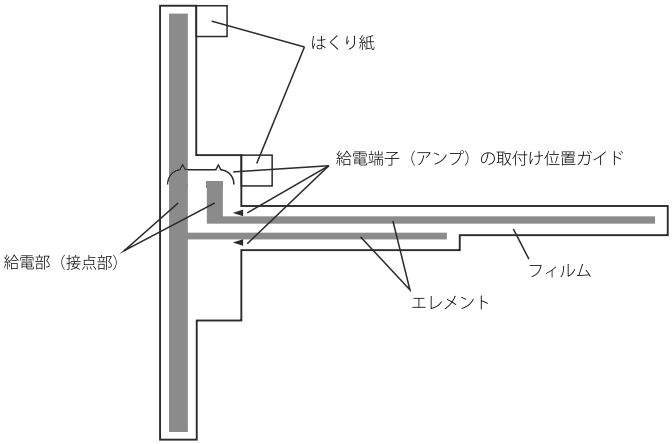
■後述の「貼付け許容範囲について」および本書の取付け方法をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
貼付け許容範囲をはみ出して貼付けた場合、車検不適合と判断される場合があります。

■アンテナを貼付ける前に貼付け箇所の汚れを良く落としてください。クリーナーを使用した場合、クリーナー成分が残らないように除去を行い、乾燥させてから貼付けてください。

■必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを充分に検討してから貼付けてください。一度貼付けると貼直しができません。

■フィルムアンテナの貼付け失敗による交換はお受けいたしません。
その際は有償にての提供となります。あらかじめご了承ください。

フィルムアンテナの構成



■フィルムアンテナは、点検整備済みステッカー・検査標章・熱線などと重ならないように貼付けてください。

■フィルムアンテナは、車内側ウインドウに貼付けてください。それ以外の場所には貼付けないでください。

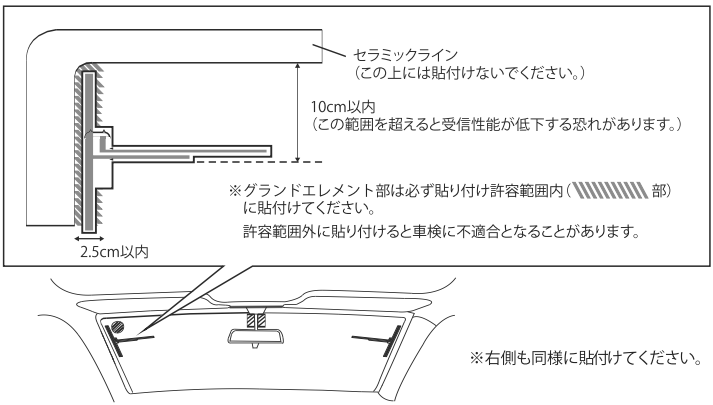
※以下の場合は地デジ／ワンセグ放送を受信しにくい時があります。

●ビルとビルの間を走行または停車している場合。
●上空を飛行機が通過または電車が近くを通過している場合。
●送電線や高圧線の付近を走行している場合。
●トンネル内や鉄橋上を走行している場合。
●ラジオ放送局やアマチュア無線局の放送アンテナ付近を走行している場合。
●山かげや木立の影など、樹木が密集している場合。

貼付け位置・貼付け許容範囲について

■アンテナの性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼付けてください。

■他のアンテナを取付けている場合は、電波の障害を防ぐため、他のアンテナから5cm～10cm程度離して貼付けてください。（下図参照）



※右側も同様に貼付けてください。

貼付け作業時の注意点

■フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。
断線等により電波の受信感度が悪くなる恐れがあります。

■フィルムアンテナのフィルムや給電端子（アンプ）のはくり紙を剥がした後は、給電部（接点部）などに手を触れないでください。
静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。

■フィルムアンテナやコード固定用クリップのはくり紙を剥がした後は、粘着面には手を触れないでください。指紋やゴミが付着し、粘着力が弱くなります。

■フィルムアンテナを貼付けた後、ガラスを拭く時にはフィルムアンテナを強く擦らないでください。また、ステッカーはがし剤等を使用しないでください。破損の原因となります。

■リヤウインドウに装着する場合は、エレメント部が熱線にかからないように貼付けてください。感度が落ちる場合があります。

■一番前のサイドウインドウには貼付けないでください。

■道路運送車両の保安基準に適合するように取付けてください。

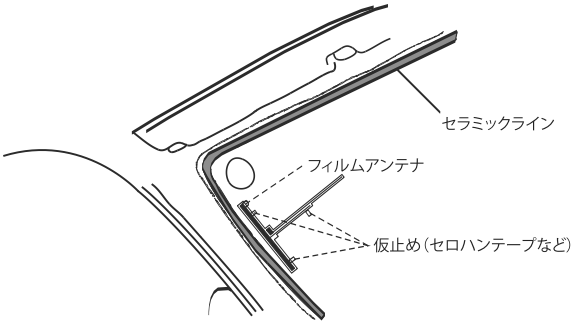
フィルムアンテナの貼付け手順

1. 貼付け位置を決める

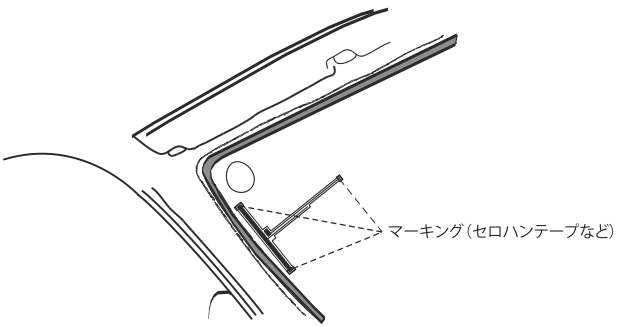
■前ページの「貼付け位置・貼付け許容範囲について」をよく読んで、貼付け位置を決めてください。

■ここでは左側のフィルムアンテナの貼付け手順を記載いたしますが、右側も同様の手順で作業を行ってください。

①セロハンテープでフィルムアンテナを仮止めする。



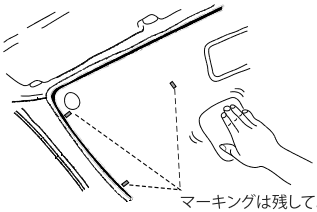
②フィルムアンテナの貼付け位置を決め、セロハンテープなどでマーキングする。



2. フィルムアンテナを貼付ける

■マーキングを残して、仮止めしたフィルムアンテナを取外してから行ってください。

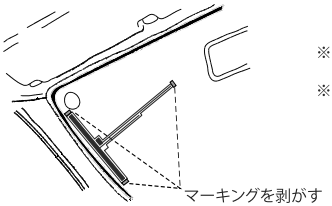
①ウインドウの汚れをクリーナー等できれいに拭き取る。



※クリーナーはご用意ください。

※ウインドウにクリーナー成分が残らないように除去し、除去後は十分にウインドウを乾燥させてください。
乾燥が不十分な状態で貼付けると粘着が弱くなり、ウインドウに貼付かなくなりますのでご注意ください。

②フィルムアンテナのはくり紙を剥がし、マーキングに合わせて貼付ける。



※粘着部には手を触れないでください。

※フィルムアンテナを貼付けた後、マーキングを剥がしてください。

貼付け作業時の注意点

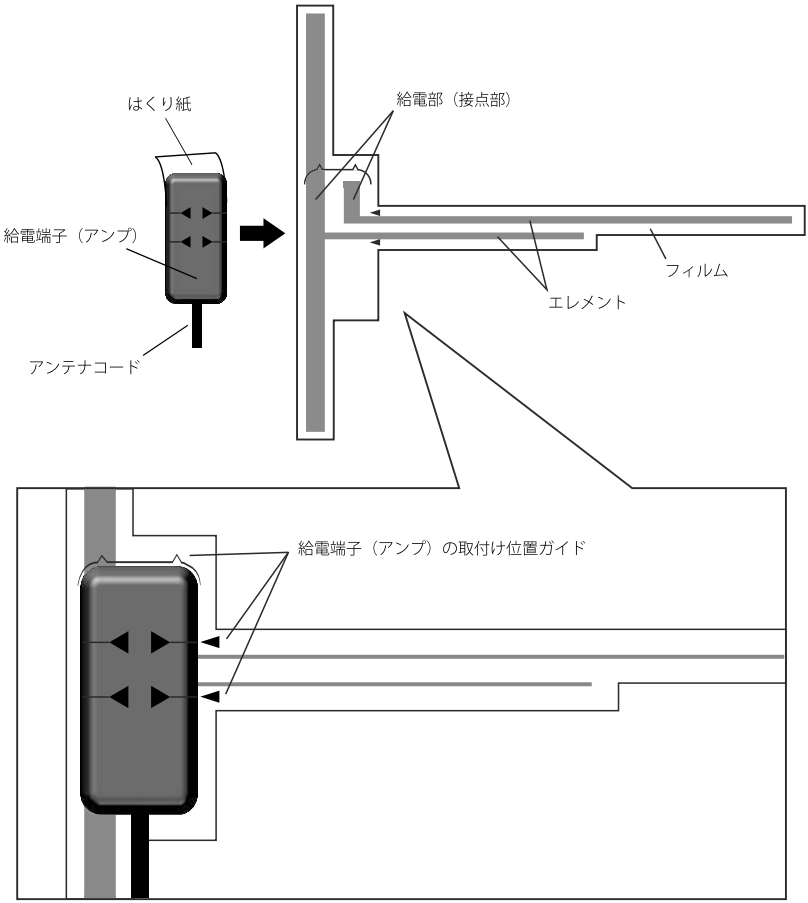
■フィルムアンテナのはくり紙は、エレメントの糊の強さとフィルム自体の糊の強さでバランスを取っていますが、エレメントが細いため、剥がしにくいことがあります。その場合は一度元の状態に戻し、強くこすりつけてからやり直してください。

■フィルムアンテナの貼付け直後（約3時間以内）は、フィルムアンテナにガラスクリーナー等を吹き付けたり、フィルムアンテナの上を直接拭いたりしないでください。また、フィルムアンテナの上を拭く時は時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、エレメントに傷がつかないように注意してください。

3. 給電端子（アンプ）をエレメントに取付ける

①給電端子（アンプ）のはくり紙をはがし、取付け位置ガイドに合わせてエレメントの給電部（接点部）に取付ける。

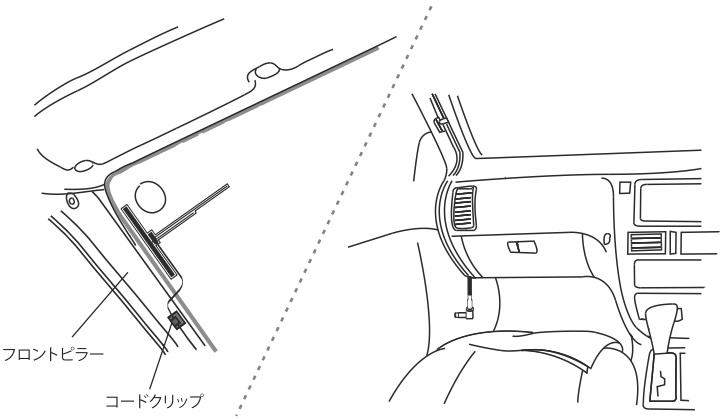
※貼付けの際は、給電端子（アンプ）の向きと給電部（接点部）の位置にご注意ください。



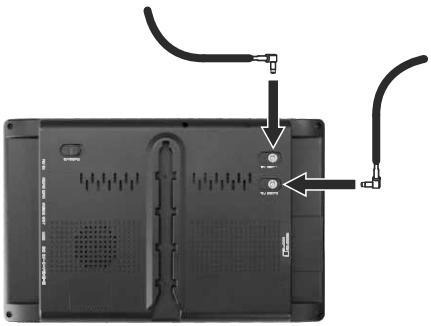
4. アンテナコードを配線する

①コードクリップでアンテナコードを固定しながら配線する。

※フィルムアンテナと給電部（接点部）の接続は粘着テープのみの貼付け固定ですので、
コードを強く引っ張るとアンテナのはがれや浮きにつながります。ご注意ください。



②アンテナコードのコネクタを本体背面の「TV ANT」端子へ接続する。



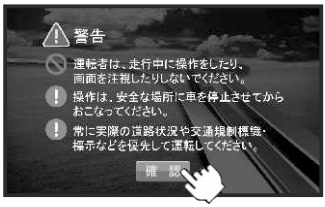
電源のON/OFF

◆電源のON

本体左側の電源／メニューボタンを1秒以上押して電源を入れます。
（シガーアダプターが差込まれた場合は自動で電源が入ります。）

電源が入ると起動画面の後、ナビゲーショントップの警告画面が表示されます。

起動画面



ナビゲーショントップの警告画面

警告内容を必ずお読みのうえ、確認ボタンをタッチするとナビゲーション画面が起動します。

ナビゲーション画面

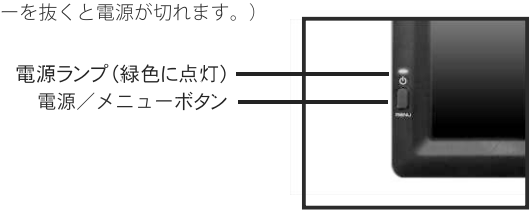
※起動画面については『設定→画面→スタートメニュー』で設定した画面になります。
初期設定は『ナビ』になっています。

※ナビゲーションの操作方法については別冊「ナビゲーションソフトウェア編」をご覧ください。

◆電源のOFF

本体左側の電源／メニューボタンを電源ランプが消灯するまで長押ししてください。
（電源ランプが消灯する前に指を離してしまうと、画面は消えても本体の電源は入ったままの状態になっていますのでご注意ください。）

その場合は一度、電源／メニューボタンを押して画面を表示させ、再度電源ランプが消灯するまで電源／メニューボタンを押し続けてください。
（シガーアダプターを抜くと電源が切れます。）



メインメニュー／クイック画面

◆メインメニュー

メインメニュー画面

- ナビ：地図ソフトを起動し、ナビゲーションを開始します。
- テレビ：地デジ／ワンセグ放送を開始します。
- AV IN：外部の映像機器から入力される映像／音声を再生します。
- 設定：本体の各種設定を行います。
- ビデオ：SDカードに保存されている動画ファイルを再生します。
- オーディオ：SDカードに保存されている音楽ファイルを再生します。
- フォト：SDカードに保存されている写真ファイルを再生します。

◆クイック画面

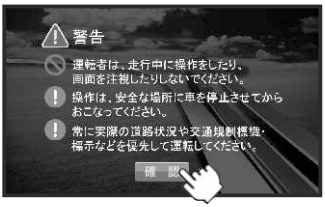
本体左側の電源／メニューボタンを短く押すと、下記のクイック画面が起動します。

クイック画面

◆メイン画面

メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、起動画面の後、ナビゲーショントップの警告画面が表示されます。

警告内容を必ずお読みのうえ、確認ボタンをタッチするとナビゲーション画面が起動します。



ナビゲーショントップの警告画面

ナビゲーション画面

※ナビゲーションの操作方法については別冊「ナビゲーションソフトウェア編」をご覧ください。

⚠ 警告

- 運転中は絶対に操作しないでください。
- 本製品は、車の安全装置に支障をきたさない場所に取付けてください。
- 本製品を車に装着する場合は、エアバックなどの安全装置に支障をきたす場所に取付けて運転者・同乗者に被害が発生した場合は、装着者の責任となります。

テレビ

テレビ放送を視聴するときは、必ず付属のフイルムアンテナもしくはロッドアンテナを接続してください。
アンテナを接続せずに視聴した場合は受信できないことがあります。

◆メイン画面

メインメニュー画面で テレビ ボタンをタッチすると、テレビ放送画面が起動します。
初めてテレビ放送を視聴する場合は、自動スキャン後にテレビ放送画面が起動します。

画面のイメージウィンドウをタッチ

フル画面表示

① チャンネル表示
- 現在放送中のチャンネルを表示します。

② テレビ画面
- テレビ放送を表示します。画面をタッチするとフル画面になり、もう一度タッチすると元の画面サイズに戻ります。

③ チャンネルリスト
- スキャンしたチャンネルを表示します。
- チャンネル名を選択してもう一度タッチすると、選択したチャンネルの放送が表示されます。

④ 受信モード
- ＜ ＞ボタンを押す毎にワンセグ／フルセグ／自動切替が切替わり、各モードにおけるチャンネルリストが表示されます。

⑤ シーク(SEEK)
- スキャンしたチャンネルとは別に、受信が可能なチャンネルを検索します。チャンネルが見つかると、見つかったチャンネルが開きます。

※ 一時的に地域が変わった場合など、保存されているチャンネルリストを変更せずに他の放送を見ようとする際に使用すると便利です。

⑥ スキャン(SCAN)
- テレビ放送を見るためには必ずスキャンしなければなりません。SCAN ボタンを押すと、スキャンした地域で放送されているチャンネルをすべて探しだして保存します。
- 一度スキャンすると、別の地域に移動しない限り、再スキャンの必要はありません。
- スキャンが完了すると、最初のチャンネルの放送が自動的に開きます。
- 初めてテレビを実行する際は、自動的にチャンネルスキャンが開始されます。

⑦ ボリューム調節
- +/− ボタンで放送の音量を調節します。

⑧ミュート

・一時的に音量を消す場合に使用します。このボタンをタッチすると音が消え、もう一度タッチすると音が戻ります。

⑨番組表

・現在放送中のチャンネルの番組表を表示します。お好みの放送番組をタッチすると、詳しい放送内容を見ることができます。
画面右上の ← をタッチすると、元の画像に戻ります。

⑩字幕切替

・放送をフル画面で見る際に、画面下に表示される字幕を選択することができます。
・「無し」を選択すると字幕は表示されず、「有り」を選択すると該当の字幕が表示されます。

> 注意
> 字幕が無い放送では「有り」を選択しても字幕は表示されません。

⑪音声切替

・放送音声の種類を選択することができます。
・この機能は主音声 / 副音声が同時に出ている放送に限られます。
・主を選択すると主音声 のみ聞こえます。
・副を選択すると副音声のみ聞こえます。
・主+副を選択すると主音声 / 副音声の両方が聞こえます。

> 注意
> 通常の放送は一音声のみで、この場合は主・副・主+副のいずれを選択しても同じ音声が聞こえます。

⑫画像比率

・画面の表示比率を3つのモードから選択できます。
基本：放送データそのままの画像になります。
全体：放送データを横方向にズームした画像になります。
拡大：放送データを画像の中心を基準にして拡大表示した画像になります。

⑬B-CASアイコン

・B-CASカードが挿入されている場合に表示されます。

⑭放送画質表示

・現在の放送画質が表示されます。
SD (Standard Definition)：標準画質
HD (High Definition)：高精細度画質

⑮テレビの受信感度レベル

・現在受信している放送の受信感度を表示します。
・×が表示されていると受信不可の状態で、アンテナバーが4本立っていると受信感度が最高の状態です。

⑯ FMトランスミッター

・アイコンが濃く表示されている時は「ON」の状態で、薄く表示されている時は「OFF」の状態です。

⑰ SDカード

・アイコンが濃く表示されている時はSDカードが挿入されている状態です。

⑱ ボリューム表示

・0〜10までの段階でボリュームを表示します。

⑲ 時刻表示

・現在の時刻を表示します。
※GPS信号やテレビ放送が受信できない場所では正確な時刻が表示されないことがあります。

⑳ 設定

・各種設定や情報の表示を行います。

中継・系列局サーチ：中継局サーチ・系列局サーチ機能のON／OFFを選択します。
局名表示：フル画面で放送を視聴する際に、画面の左上に放送局名を表示します。
時計表示：フル画面で放送を視聴する際に、画面の左上に現在時刻を表示します。
B-CAS ID：本体に挿入されているB-CASカードのID番号を表示します。
バージョン：テレビプログラムのバージョンを表示します。

㉑ナビボタン

・メニュー画面に戻ることなく、そのままナビゲーション画面に切替えることができます。

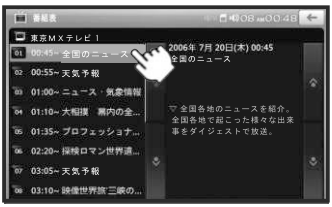
■ 中継・系列局サーチ機能について

本製品には中継局サーチ・系列局サーチ機能を搭載しています。
中継局が切替わる場所を走行した場合など、電波を受信できない状態が約15秒間続くと、自動的にチャンネルスキャンを開始します。

◆ナビゲーションメイン画面でテレビとの2画面表示にする方法

• ボタン→ テレビ ボタンをタッチすると、ナビゲーションとテレビの2画面表示になります。

◆番組表



•番組表ボタンをタッチすると、現在のチャンネルの番組表が表示されます。
•番組を選択してもう一度タッチすると、選択した番組の詳しい内容が表示されます。

◆放送の終了

・画面右上の ✕ ボタンを押すとウインドウが閉じ、放送が終了します。
・また、本体の電源が切れた場合でも放送が終了します。

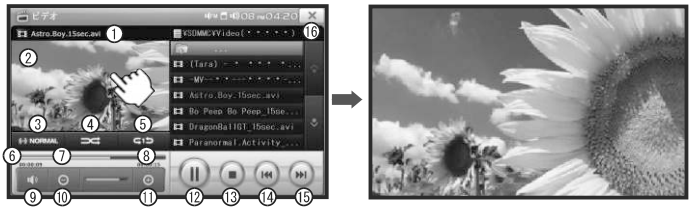
テレビ放送について

• テレビ放送の視聴中に受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが現れる、静止画面・黒画面、音声が中断される、などの現象が起こる場合があります。
•車で移動中に受信する場合は、ご家庭や停止状態での受信に比べ受信可能な領域が狭くなり受信感度が低下します。また、車の場所や方向、速度などによって受信状態が変化します。
•本機の受信周波数帯域に相当する周波数を利用した携帯電話などの機器を本機に近づけますと、その影響で映像や音声などに異常が発生する場合があります。その場合は機器から離して使用してください。
•本機は ARIB(電波産業会)規格に基づいて仕様設計されています。
今後ARIB規格が変更される場合には、商品の仕様を変更することがあります。
•本機はデータ放送、緊急警報放送に対応していません。
•本機は地上アナログ放送に対応していません。
•本機には録画・再生機能はありません。

ビデオ

◆メイン画面

メインメニュー画面で ビデオ ボタンをタッチすると、ビデオのメイン画面が起動します。



※画面のイメージウインドウをタッチすると全画面表示に切替わります。

① ファイル名表示
- 再生中のファイル名を表示します。

② 動画画面
- 選択したファイルの画面が開きます。
- 再生中に画面をタッチするとフル画面になります。もう一度タッチすると元の画面サイズに戻ります。

③ イコライザ 設定
- NORMAL、ROCK、POP、CLASSIC、JAZZ の中からお好みのモードを選択できます。

④ 再生モード
- ：リスト内のファイルを順番に再生します。
- ：リスト内のファイルをランダムに再生します。

⑤ リピートモード
- ：1つのファイルを繰り返し再生します。
- ：全てのファイルを繰り返し再生します。

⑥ 再生経過時間
- 現在再生中のファイルの再生経過時間を表示します。

⑦ 再生位置表示(シークバー)
- 現在の再生位置を表示します。バー上をタッチすると バーがタッチした位置に移動し、移動した箇所から再生が始まります。

⑧ 再生トータル時間
- 再生中のファイルの再生トータル時間を表示します。

⑨ ミュート(消音)
- 再生する動画の音声を一時的に消します。もう一度ミュートボタンをタッチするとアイコンが変わりミュートが解除されます。

⑩ ボリューム (−)
- 再生する動画の音量を下げます。音量は全部で10段階調節できます。

⑪ ボリューム (+)
- 再生する動画の音量を上げます。音量は全部で10段階調節できます。

⑫ 再生／一時停止
- 選択したファイルを再生します。再生中は表示が一時停止アイコンに変わります。
- 一時停止中は再生アイコンに変わり、もう一度タッチするとファイル再生が中断された部分から再生を始めます。

⑬ 停止
- 現在再生中のファイルを終了します。

⑭ スキップ(－)
- 1つ前のファイルに移動して再生を始めます。

⑮ スキップ(＋)
- 1つ後のファイルに移動して再生を始めます。

⑯ 終了ボタン
- ビデオメニューを終了します。

注意

ビデオを再生するためには別売りのSDカードを準備してください。

◆ビデオリスト

① ファイルパス
- 現在選択されているファイルのパス(経路)を表示します。

② 上位フォルダに移動
- サブフォルダにある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。最上位フォルダにある場合は反応しません。

③ サブフォルダ
- Videoフォルダ内にサブフォルダ(Sub Folder)がある場合に表示されます。サブフォルダをタッチするとサブフォルダ内のファイルを表示することができます。

④ 動画ファイル表示部
- 動画ファイルを表示します。

⑤ リストアップ
- 1つ前のリストページに切替えます。

⑥ リストダウン
- 1つ後のリストページに切替えます。

※リスト画面内のファイルを直接タッチしても再生できます。

注意

動画の再生には下記の条件が必要です。
- 再生可能ファイル：WMV
- サイズ：640X480
- ビデオ＆オーディオのビットレート： 1 Mbps
- オーディオビットレート : 128Kbps 以下

上記の条件に合わせて動画を変換する必要があります。
変換作業をおこなう際は、市販の変換ソフト等をお買い求めください。

オーディオ

◆メイン画面

メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、オーディオのメイン画面が起動します。

① ファイル名
- 再生中のファイル名を表示します。

② ファイル情報
- 再生中の曲の情報を表示します。

③ EQ設定
- NORMAL、ROCK、POP、CLASSIC、JAZZの中からお好みのモードを選択できます。

④ 再生モード
- ：リスト内のファイルを順番に再生します。
- ：リスト内のファイルをランダムに再生します。

⑤ リピートモード
- ：1つのファイルを繰り返し再生します。
- ：全てのファイルを繰り返し再生します。

⑥ 再生経過時間
- 現在再生中のファイルの再生経過時間を表示します。

⑦ 再生位置表示（シークバー）
- 現在の再生位置を表示します。バー上をタッチするとバーがタッチした位置に移動し、移動した箇所から再生が始まります。

⑧ 再生トータル時間
- 再生中のファイルの再生トータル時間を表示します。

⑨ ミュート（消音）
- 再生する音楽の音声を一時的に消します。もう一度ミュートボタンをタッチするとアイコンが変わり、ミュートが解除されます。

⑩ ボリューム（－）
- 再生する音楽の音量を下げます。音量は全部で10段階調節できます。

⑪ ボリューム（＋）
- 再生する音楽の音量を上げます。音量は全部で10段階調節できます。

⑫ 再生／一時停止
- 選択したファイルを再生します。再生中にこのボタンをタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生が中断された部分から再生を始めます。

⑬ 停止
- 現在再生中のファイルを終了します。

⑭ スキップ（－）
- 1つ前のファイルに移動して再生を始めます。

⑮ スキップ（＋）
- 1つ次のファイルに移動して再生を始めます。

⑯ 終了ボタン
- オーディオメニューを終了します。

注意

音楽ファイルを再生するためには別売りのSDカードを準備してください。

◆オーディオリスト

① ファイルパス
- 現在選択されているファイルのパス(経路)を表示します。

② 上位フォルダに移動
- サブフォルダにある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。最上位フォルダにある場合は反応しません。

③ サブフォルダ
- Musicフォルダ内にサブフォルダ(sub Folder)がある場合、表示されます。サブフォルダをタッチするとサブフォルダ内のファイルを表示することができます。

④ 音楽ファイル表示部
- 音楽ファイルを表示します。

⑤ リストアップ
- 1つ前のリストページに切替えます。

⑥ リストダウン
- 1つ前のリストページに切替えます。

※リスト画面内のファイルを直接タッチしても再生できます。

※ 再生できるファイルは WMA・MP3で、DRMファイルは再生できません。

※ 一部のファイルで MP3、WMA へ正しくファイル転換できなかった場合に再生ができない、途中で別の曲に変わってしまう、などの現象がおきる場合があります。この場合はもう一度ファイル変換をおこなってから再生してください。

※ マルチタスキング機能
オーディオはフォトおよびナビと同時実行が可能です。
オーディオで音楽再生中に本体の電源／メニューボタンを押し、メインメニューからフォトやナビを実行すると、フォトやナビ機能を利用しながら音楽を楽しめます。

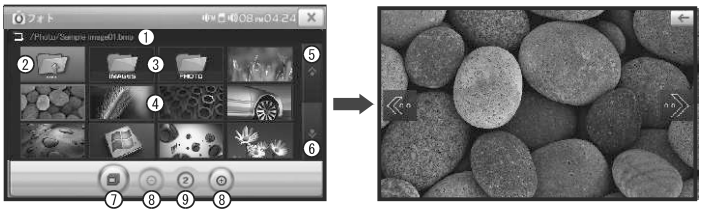
注意

オーディオを終了せずにナビを実行すると、音楽が流れた状態でナビが動作します。この場合、ナビの案内音声はフォトおよびナビの音と同時に出力されます。
ナビの音声案内が流れると、自動的にフォトおよびナビの音量が小さくなります。

フォト

◆メイン画面

メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、フォトのメイン画面が起動します。



① ファイルパス
- 現在選択されているファイルのパスを表示します。

② 上位フォルダに移動
- サブフォルダ内のイメージを表示中にこのボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。最上位フォルダにある場合は反応しません。

③ サブフォルダ
- フォトフォルダ内にサブフォルダがある場合に表示されます。
  タッチすると、サブフォルダ内のイメージを見ることができます。

④ イメージ
- フォトフォルダ内にあるイメージをサムネイル (小さい画像) で見ることができます。
  サムネイルをタッチすると、フル画面でイメージを見ることができます。

⑤ ページ送り（−）
- このボタンを押すと前ページのイメージを表示します。

⑥ ページ送り（＋）
- このボタンを押すと次ページのイメージを表示します。

⑦ スライドショー
- このボタンを 押すと保存されているイメージが設定した時間間隔で自動的に切替わって表示されます。
  スライドショーを中断するには画面をタッチしてください。

⑧ スライドショーの時間設定
- スライドショー の 時間間隔を2秒〜9秒(1秒単位)の間で設定します。

⑨ スライドショーの時間間隔
- 設定された時間間隔(秒)を表示します。

注意

フォトを再生するためには別売りのSDカードを準備してください。

◆フル画面

メイン画面のサムネイルをタッチすると､フル画面でイメージを見ることができます。

① フォトのメイン画面に戻ります。

② 前のイメージを表示します。

③ 次のイメージを表示します。

5秒間何も操作しなかった場合､もしくはイメージをタッチすると1～3のアイコンが消えます｡もう一度イメージをタッチするとアイコンが現れます。

◆スライドショー

スライドボタンを押すと、設定した時間間隔でイメージがスライド表示されます。
スライドショーを中断する場合は、画面をタッチしてしてください。

注意

1. 再生できるファイルフォーマットは JPG・BMP・GIF・PNGです。
2. 再生できる最大ファイルサイズは 2048X1536で 、これより大きなファイルサイズでは誤作動を招く恐れがありますのでご注意ください。
3. 最適なファイルサイズは 800X480で､これより大きなファイルサイズでは速度低下や誤作動を招く恐れがありますのでご注意ください。

設定

メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、設定画面が起動します。

■画面設定画面

① スタートメニュー
- 電源入力時の初期表示を設定します。
  ナビ：ナビゲーション画面を表示します。
  メインメニュー：メインメニューを表示します。
  最終画面：電源OFFする直前の画面を表示します。
  （テレビ、ビデオ、オーディオのみ）

② 後方カメラ使用
- このボタンを「On」に設定すると、リアカメラからの映像信号が入力されると、自動的にカメラ映像の画面に切替わります。
  （別途リアカメラが必要になります。）

③ 後方駐車線
- このボタンを「On」に設定すると、リアカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。

④ 電源設定
- 液晶パネルの電源が切れるまでの時間を調整します。(常に／1分／5分／10分／30分)
  「常に」に設定しておくと、液晶パネルの電源は切れません。
  また、「常に」以外に設定して液晶パネルの電源が切れた場合でも、画面をタッチすると電源が入り、画面が表示されます。

⑤ タッチ補正
- 画面をタッチした部分と実際に反応した部分にズレがある場合、タッチ補正を行ってください。
  このボタンをタッチすると、補正確認画面が表示されます。
  「はい」をタッチすると補正機能が実施され、画面の指示に従い、+印の中央をタッチする操作を5回繰り返すと補正が完了します。
  「いいえ」をタッチすると、補正作業がキャンセルされ、元の設定画面に戻ります。

⑥ 初期化
- 画面内の設定項目の値を工場出荷時の設定に戻します。

■サウンド設定画面

① ボリューム

• 本体のスピーカー音量を10段階（0～10）で設定します。
◀ボタンをタッチすると音量が小さくなり、▶ボタンをタッチすると音量が大きくなります。

② タッチ音

• 画面をタッチする際のタッチ音の有無を設定します。

③ サウンドミックス

• ナビゲーションとテレビ／ビデオ／オーディオを同時に起動している場合の音声出力方法を設定します。

On：ナビゲーションの音声案内時、テレビ／ビデオ／オーディオの音声も同時に出力されます。
（テレビ／ビデオ／オーディオの音声は一時的に小さくなります。）

Off：ナビゲーションの音声案内時、テレビ／ビデオ／オーディオの音声はミュート状態になり、ナビゲーションの音声案内のみが出力されます。

④ FMT

• FMトランスミッター機能のON／OFFを設定します。

On：FMトランスミッターを使用し、カーオーディオから音声を出力します。
◀ ▶ のボタンで使用する周波数を設定することができます。
また、周波数を5件まで登録することができます。

Off：FMトランスミッターを使用せず、本機から音声を出力します。

● 注意 ●

・FMTがONのときは、本体スピーカーから音が出ません。
・受信する車載FMラジオなどがOFFの時には、車のスピーカーを通じて音を聞くことができません。
・本体の電源をON/OFFしても設定を維持します。
・FMTがONの時の音量調整は、受信側の機器で行ってください。
ただし、本機の音量は”1”以上になっていなければなりません。
・地域、周波数帯域、機器などにより、電波干渉の影響で正常に使用できない（音声にノイズが入る等）場合があります。

⑤ 初期化

• 画面内の設定項目の値を工場出荷時の設定に戻します。

■明るさ設定画面

昼間／夜間モードが「Off」の場合

時間に関係なく、常に設定した明るさになります。

① 明るさ

- 画面の明るさを10段階（0～10）で設定します。
  ◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなります。

昼間／夜間モードが「On」の場合

設定した時間帯に応じ、明るさが変更になります。

② 昼間設定

- 昼間モードの時間範囲を設定します。
  ※設定範囲外の時間は夜間モードの時間範囲となります。

③ 昼間明るさ

- 昼間モード時の画面の明るさを10段階（0～10）で設定します。
  ◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなります。

④ 夜間明るさ

- 夜間モード時の画面の明るさを10段階（0～10）で設定します。
  ◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなります。

⑤ 初期化

- 画面内の設定項目の値を工場出荷時の設定に戻します。

■バージョン情報画面

製品のソフトウェアバージョンを確認できます。

※これらの情報は実際の製品の情報とは異なる場合があります。

① アップグレード

- システムのアップグレードを行います。
  ※アップグレードを行うには専用のメモリーカード（別途販売予定）が必要です。

② 全体初期化

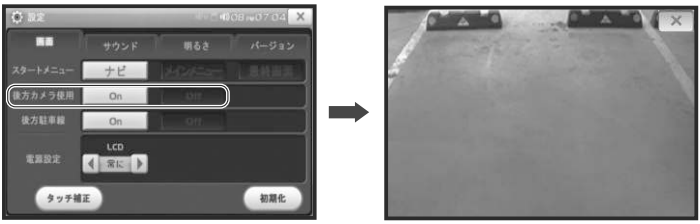
- 全ての設定項目の値を工場出荷時の設定に戻します。

リアカメラ（後方カメラ）

■リアカメラ（後方カメラ）の使用

画面設定画面で後方カメラ使用を「On」に設定すると、リアカメラを通じて自車の後方を確認できます。

本機の「REAR CAM」端子にリアカメラを接続し、カメラからの映像信号が入力されると、自動的にカメラ映像の画面に切替わります。

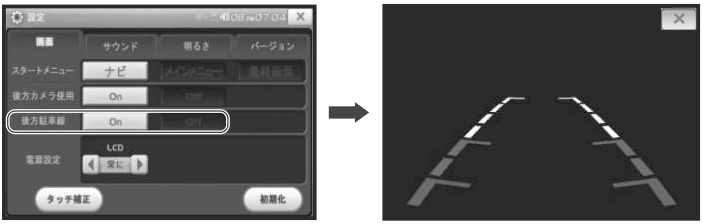


注意

カメラは本製品には含まれていません。別途ご用意ください。
カメラの設置は、カメラに添付されているマニュアルに従って行ってください。

■後方駐車線の使用

このボタンを「On」に設定すると、リアカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。



■リアカメラの接続について

リアカメラの映像出力端子とリアカメラ接続ケーブルの映像入力端子を接続し、リアカメラ接続ケーブルのもう一方のミニプラグを本体側面のREAR CAM端子に接続します。

USBモード

本体と PCを 市販のUSBケーブルで接続すると、別途カードリーダーを必要とせずに、
本体をカードリーダーのように使用することができます。

本体と PCを USBケーブルで接続すると、USBが接続された画面が表示され、PCには
リムーバブルディスクとして認識されます。

このようにすると一般のカードリーダーに SDカードを挿入してファイル処理するように、
本体の SDスロットに SDカードを挿入してファイル処理を行うことができます。

注意

1. USBの接続を解除すると電源が自動的にオフになります。
2. 必ずSDカードを先に挿入後、USBケーブルを接続してください。
3. USBケーブルでは充電できません。
4. リムーバブルディスクはSDカードのみ対応いたします。
5. リムーバブルディスクとしての動作中は絶対にSDカードを取出さない
   でください。

故障かなと思ったら

1. GPS信号が受信できない。
   - 建物の間や高架道路、トンネルなどの場所を避け、空の見える安定した場所で受信を確認してください。

2. MP3/動画/フォトが再生できない。
   - マニュアルに記載されている「再生できるファイル形式」を確認してください。

3. スピーカーやイヤホンから音声がでない。
   - FMT設定がONになっていないか確認してください。
   - ボリュームのレベルを確認してください。
   - ミュート状態を確認してください。
   - イヤホンの場合はジャックが正しく差し込まれているか確認してください。

4. 画面が暗い。
   - 設定メニューでLCDの明るさを調整してください。

5. 放送スキャンができない / 放送がとぎれる。
   - アンテナを立てて受信しやすい方向に移動するか、アンテナの位置を調整してください。

6. SDカードが認識されない。
   - SDカードはSDタイプあるいはSDHCタイプまでのみ、最大16GBまで対応していますので確認してください。
   - ファイルシステムがFAT16あるいはFAT32になっているか確認してください。
   - カードに異物が付着していないか確認してください。

7. SDカードに記録できない。
   - SDカードのWrite protectを解除してから使用してください。
   - SDカードが正しく挿入されているか確認してください。
   - カードに異物が付着していないか確認してください。

8. タッチパネルにタッチしてもうまく動作しない。
   - タッチパネルを爪で触れるようにタッチしたり、充分な力が加えられないと認識しないことがあるので、正確にタッチしてください。
   - 「タッチ補正」をしてください。

9. 電源が入らない。
   - シガーアダプターが正しく接続されているか確認してください。
   - 接触部分に異物が付着していないか確認してください。

10. USBケーブルを差し込んでもPCに何も認識されない。
    - SDカードが差し込まれているか確認してください。(差し込まれていなければUMS(Usb Mass Strage)として認識されず、PCからもディレクトリとして認識されません。)
    - USBケーブルに異常がないか、正しく差し込まれているか確認してください。

11. スタンドがうまく付かない。
    - 取り付けたい場所の異物を取り除いてください 。
    - スタンドの付着面を水できれいに洗い、乾かしてからもう一度取り付けてください。

製品仕様

OS	Windows CE 6.0
CPU	700MHz Dual-Core
SDRAM	256MB
フラッシュメモリ	8GB（内蔵型NAND Flash）マップデータ用
SDカード	SD/SDHC（16GB）
ディスプレイ	8インチTFT液晶
	タッチパネル式
	解像度 800×480ドット
USB	V2.0HS（UMS）
スピーカー	1W Mono
電源電圧	DC 9～24V
動作温度	0～45℃
寸法	207.0mm(W)×130.0mm(H)×20.5mm(D)
本体重量	約430g
GPS	
GPSアンテナ	内蔵型パッチアンテナ
受信周波数	1575.42MHz
テレビ	
アンテナ	フィルムアンテナ／外部ロッドアンテナ
チャンネル	13ch～62ch（470～770MHz）
マルチメディア	
ミュージック	MP3,WMA
ビデオ	WMV9
フォトビューワ	BMP,JPG,GIF
マルチタスキング	ミュージック＋ナビ , ミュージック＋フォト
オーディオ出力	ステレオ出力 , 3.5mmピンジャック
シガーアダプタ	
電源電圧	DC 9～24V
その他	
FMトランスミッター	76.0～90.0MHz
リアカメラ	NTSC

品質保証

弊社では下記の通り、品質保証を行っています。
製品の故障が発生した場合はサポートセンターへご連絡ください。

■無償サービス

ご購入後1年以内に故障が発生した場合は、無償サービスを受けられます。
ただし、一般製品を業務用として転用し、ご使用になった場合は、保証期間が半分に短縮されます。

◆被害タイプ補償内容
正常使用範囲で発生した性能・機能上の欠陥により、故障が発生した時（故障による不良に限る）

・保証期間内：交換および無償修理
・保証期間後：有償修理

■有償サービス

1. 故障ではない場合
・故障ではない場合やサービス請求した場合は、料金はお客様の負担となります。必ず最初に取扱説明書をお読みください。

2. お客様の過失による故障の場合
・お客様の取扱い不注意または修理・改造により故障が発生した場合。
・弊社のサービス委託業者および指定協力会社の技術者でない者が修理して故障が発生した場合。
・設置後、落下などによる故障・損傷が発生した場合。
・弊社製でない消耗品やオプション品を使用したことにより故障が発生した場合。

3. その他
・天災（火災、塩害、水害など）やその他事故により故障が発生した場合。

保証規約

1. 保証期間
当社の保証期間は、ご購入日から1年間となります。
保証期間内であれば、ご購入いただいた商品の修理を無償で行います。保証を受ける場合は、購入期日を証明できる書類（レシート・販売店証明書など、いずれも販売店が明記されているものに限ります）と一緒に保証書をご提示ください。これらのご提示がない場合は有償修理となりますことをあらかじめご了承ください。

2. 本製品の使用により生じた直接的・間接的な損害につきましては、いかなる場合も当社は一切の責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。

3. 保証書は日本国内でのみ有効です。

4. 保証の除外事項
下記のような場合には、保証期間内であっても有償修理となります。

・本製品の取扱説明書に記載されている使用方法および取扱方法、注意事項に反する使用によって生じた事故・破損。

・ご購入後の輸送事故や落下・振動等、不適切な取扱による事故・故障。

・火災・水害等の不測の天変地異、または異常電圧、指定以外の電源使用等の外部要因に起因する事故・故障。

・接続先または接続元の機器に起因する事故・故障。

・ご購入後のお客様による分解・修理・改造に起因する事故・故障。

・消耗品の交換。（付属品は初期不良のみ保証の対象となります）

・機械寿命以上に使用された場合。

・保証書のご提示がない場合。

・購入期日を証明できる書類（レシート・販売店証明書など、いずれも販売店が明記されているものに限ります）のご提示がない場合。

付属品に関しては消耗品となりますので、初期不良以外は保証の対象外となります。
あらかじめご了承ください。

◆本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店およびサポートセンターへご連絡ください。
◆交換、修理（有償・無償）、払い戻しおよび保証期間中など、その他の保証規定は消費者保護法の保証基準に依拠します。
◆本製品に対してご不明な点、お問い合わせ等はサポートセンターにお問い合わせください。

保証書

品　　名	8インチフルセグ・ナビゲーション Y12
品　　番	NAV-08
保 証 期 間	お買い上げ日から1年間
お買い上げ日	年　月　日
製 品 番 号	S/N
販売店	

見本

商品に関するお問い合わせ

●ミラリードサポートセンター

ナビダイヤル

0570-00-8857

受付時間:月～金 午前10時～午後5時
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

株式会社 ミラリード
●東京本社 〒106-0046 東京都港区元麻布3-12-2
商品案内　URL http://www.mirareed.co.jp

※ 取扱説明書の内容は、機器のソフトウェアバージョンおよびGPS衛星状態により異なる場合があります。また、お客様に事前の通知なしに変更されることがあります。

MEMO

MEMO

MIRAREED NAV-08

株式会社 ミラリード

●東京本社 〒106-0046 東京都港区元麻布3-12-2
商品案内URL　http://www.mirareed.co.jp

2012.02　P1